

上越ケーブルビジョン  
平成 26 年度 第 2 回番組審議会  
議事録

日時：平成 27 年 2 月 12 日（木）17：00～

場所：JCV 2F 会議室

出席者 (審議委員)

○中川周一 委員長 ○池田 弘 委員 ○小出佳子 委員  
○品川久美子 委員 ○西村俊夫 委員 ○平澤則子 委員

(上越ケーブルビジョン)

○代表取締役社長 宮澤英文  
○常務取締役業務本部長 丸田健一 ○放送部長 山岸潤

1. 開会
2. 会社挨拶 (宮澤社長)
3. 委員長挨拶 (中川委員長)
4. 議事

(1) 朝の情報番組「おはよう上越」について

- (池田委員) 朝 7 時というのはNHKのニュースを見始める時間帯のように思う中で、NHKニュースを見ないでこれを見るというのは番組の価値を見出さないと難しい。
- (小出委員) 時間帯が出勤時間にかかっているので生で見るのはなかなか難しいが、得られる情報は魅力的だと思う。
- (品川委員) 雪の状況を確認し、出勤や客先への訪問する移動時間を調整するなど、朝のうちに予定が立てられるのでありがたい。番組が始まってからは、朝の様子を見て、今日一日をイメージできるので活用している。
- (西村委員) 提供している情報の中身は魅力的だと思う。本当は 6 時から見たい。もう 15 分でも早ければすごく有効だと思う。時間帯の設定やもう少し工夫があればもっと便利なのかと思う。市内でも直江津と妙高の天気は違うので比較できるのもよい。
- (平澤委員) タイムリーな内容で良かった。このような情報を地域の中のいろんな人が共有して高齢者に声をかけるなど、情報を上手に活用してもらえるような方策も考えた方がよい。
- (中川委員長) 今の 7 時の時間は果たしてどうなのか。子供が市外の高校に通っている近所の人は、直江津駅に送るために 7 時過ぎに出発している。交通情報の順番など見て活用できる時間帯なのか。

- (山岸) 柿崎や妙高高原から通ってくる高校生は6時半ごろ家を出て電車に乗る人もいと聞いている。交通が乱れている場合は6時半からL字を使って放送することになっているが、これまでのところそのような事例は発生していない。放送自体はもう少し早い時間でも良いと考えているが、まずは7時からのスタートとした。
- (池田委員) 交通情報はその時間で対応してもらえるような協定を結んでいるのか。
- (山岸) J R直江津駅から5時半ごろにF A Xが来る。天候が荒れて運行に影響がある場合は、7時ぐらいまで対応してもらえる。あとは、ホームページで随時更新されればそれを反映している
- (中川委員長) きょうの上越を知るうえでは、非常に有益な番組。継続して視聴できるような番組にしていきたい。

## (2) 駆け抜ける！都大路～関根学園高校 駅伝の聖地に挑む～

- (中川委員長) DVDにして図書館などで広く見られるようなことも考えてみても良いと思う。さわやかな番組。初めての取り組みで何か反響はあったのか。
- (山岸) お孫さんが出場された方から宝物にしたいという声を聞いた。本当に嬉しい言葉でした。
- (池田委員) 個人で優れた人はいても、団体で全国大会に出場するというのはなかなかない。関根学園だけでなく地域の人たちが頑張るって全国大会へ行って、上越の名前を出していく意味で地域が盛り上がる。
- (小出委員) 走っている生徒の表情や言葉、保護者や仲間の言葉とか一つのドラマになっていて感動する番組。地域の私たちにとって見ることで元気をもらえる。公共の場所でも流してほしい。
- (品川委員) 遠くの現場だったので応援に行きたい人も多くいたと思う。このような形で見ることができ喜んでいる人もたくさんいると思う。
- (西村委員) 地方のテレビ局ならではの、地域の高校が頑張ると自分のことのようにうれしくなる。市民に支持される、後押しされる番組。スポーツだけでなく、文化的なこととか可能性のある番組。
- (平澤委員) 市内を車で走っていると高校や中学の校舎に全国大会出場の看板が出ている。取材の際どういう基準で選んでいるのか、透明性をもって教えてほしい。北城高校はマーチングで全国大会に出る。同じように取材すると感動的なものかもしれない。
- (中川委員長) ケーブルテレビの良さは何度も繰り返し放送できるのが強み。取材の選考過程を公開しながら幅広くやる。J C Vは上越の記憶箱みたいな役割もある。

### (3) 特別番組の取り組みについて

#### ・秋以降に実施した特別番組について

(西村委員) 色々な映像やICTの活用を見て、メディアの新しい形があると思う。地域ならではの密着した細かな情報だけでなく、今までにない新しい形がケーブルテレビから生まれてくる可能性がある。

(池田委員) 革新的な技術で放送もバージョンアップしている。使いこなし方の公開講座など使える人を増やす番組を作ってはどうか。

#### ・これからの特別番組の予定について

(中川委員長) ケーブルテレビならではの良さを生かして番組に反映してほしい。時間の経過とともに楽しくなったり、懐かしくなったり地域の記憶箱のような形で。時間の変遷を常にストックして、それを視聴者に届けるなどいかにケーブルテレビの裾野を広げて視聴者にとって魅力ある放送にしていく。その視点も忘れずに。新幹線開業の中継もやるので、わが町100景のようなものを開業の5年10年後にやっても良い。

### (4) その他

(平澤委員) 職場で聞いたところ、自分の子どもが学校に通っている間はテレビに映るので見ていたが、高校を卒業するとJCVを見なくなったという話を聞く。もうすぐ1年生をビデオに録画したいけど、アパートにJCVが入っていないため友人に頼んで録画してもらっている。加入の手続きなど色々な方法でもう少し加入を増やす努力をしてほしい。

(池田委員) デジアナ変換でいきなりアニマックスなどが見られなくなる可能性がある。もう少し分かりやすく宣伝してほしい。

## 5. 閉会